

施工要領書

(屋上植栽樹設置工事)

工事名

平成 2 1 年 月

ビルマテル株式会社

目 次

項 目	ページ
摘要範囲、摘要図書	1
工事概要	1
使用材料、運搬荷姿	1
作業フロート	2
各フロートの説明	3～5
自主検査	6
品質管理、安全管理	6

◎ 摘要範囲

本図書は軽量ウォール（フェザーストーンウォール）

の現場搬入 から取付検査までに対し摘要する。

◎ 摘要図書

設計図書

施工要領書

◎ 工事概要

フェザーストーンウォール

◎ 使用材料

フェザーストーンウォール

低倍率の発泡樹脂を基材とし、天然石を粉砕し樹脂で固めた石材シートを化粧として使用

ジョイント金具

接着材

◎ 運搬荷姿

フェザーストーンウォール

各パーツに寸法記入あり

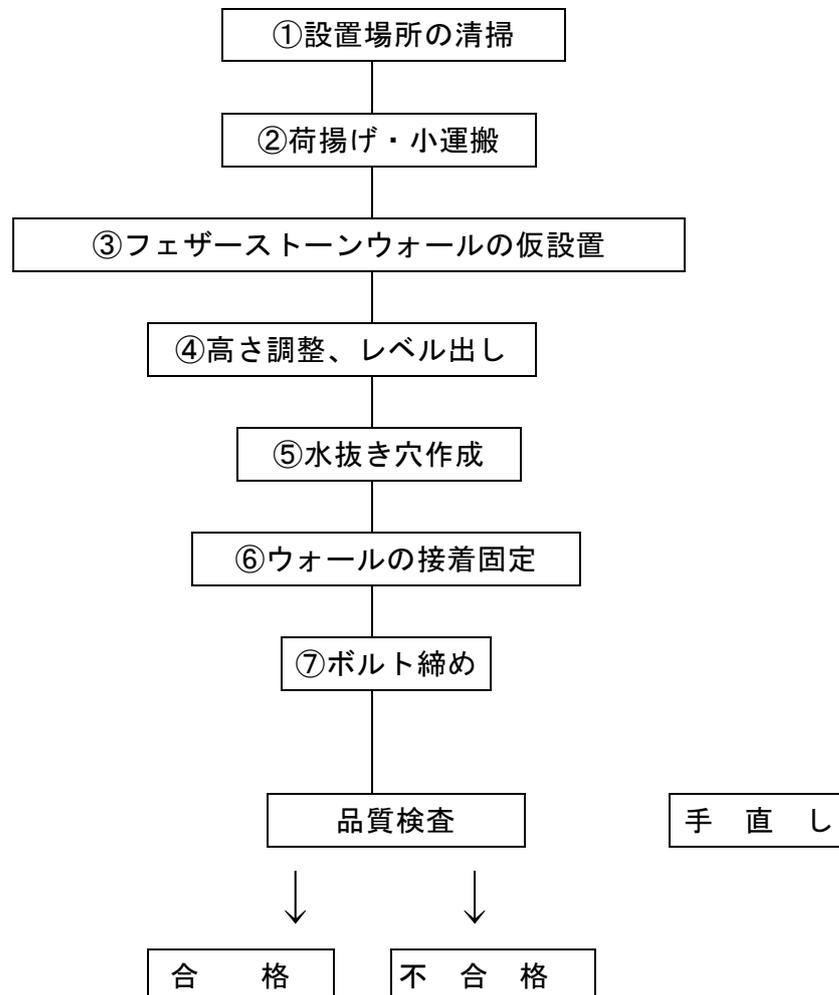
ジョイント金具

ダンボール箱で梱包

接着材

ダンボール等で梱包

◎作業フローチャート



◎各フローチャートの説明

材料搬入

①設置場所の清掃

②荷揚げ 小運搬 (写真-1)

1. フェザーストーンウォールは布モッコにパレットを敷き荷揚げする。
ウォールの荷揚げに使用するモッコやロープは布製を使用する。
2. 実際に組み立てる場所まで人力で小運搬する。



(写真-1)

③フェザーストーンウォールの仮設置 (写真-2)

1. 部材は図面と見比べながら決まった形状を置く。



(写真-2)

④高さ調整、レベル出し (写真-3)

1. GLの凹凸・水勾配をウォールがひろう場合は底面の発泡をカット又はゴムハンマー等でたたき、がたつかないようにする。



(写真-3)

⑤水抜き穴の作成 (写真-4、5)

1. 水抜き穴を作成する箇所はウォールの底面水抜き穴部分をカットする。



(写真-4)



(写真-5)

⑥ウォールの接着固定 (写真-6)

1. ウォールの底面L張り出し部を接着剤で床に固定する
(写真-6)



⑦ボルト締め

1. 付属のボルトとナットでフェースストーンウォールのジョイント部を軽く締める。
2. 仮締めの際に高さ調整レベル出しの再チェックをし、規定以下の場合はやり直す。

その他

1. フェースストーンウォールの組み立ての途中で現場を離れる場合は、強風で倒れないよう重しなどで固定する。

◎自主検査

自主検査項目

- ・目視にてウォールのずれ、膨らみ等はないか確認する。
- ・目視にて装飾仕上げ材の表面部、目地部等に異常はないか確認する。
- ・その他破損個所がないか確認する。

①使用材料受入検査

- ・搬入時に寸法規格、個数が本書通りであるか確認を行う。
- ・仕上げの色が指定色であるか確認を行う。
- ・形状の変形、キズ等があれば補修をするか返品し使用しない。

②出来型検査

- ・据付レベル誤差が規格以内であるか調査する。
- ・ジョイント金具の締付状況、ゆるみ、過度の締付に対し確認を行う。

◎品質管理

- ①定期的に生産工場で実際の商品を作り検査項目リストに合った商品か検査を行う。
- ②商品出荷時には弊社の社員又は、生産委託しています責任者の確認のもと搬入使用材確認書をもとに出荷する。
- ③品質の強度等の試験を定期的に行う。
- ④ウォールの組立途中で現場を離れる際にはL型の底面等に重しをのせ強風による転倒防止を行う。

◎安全管理

- ①作業開始前に職長を中心にTBMを行い、危険作業の事前周知を行ってから作業に取りかかる。
- ②作業に適した服装とし、保護具（ヘルメット、安全靴、安全帯）を着用する。
- ③クレーンを使う荷揚げは有資格者により玉掛し、荷崩れのないよう充分確認する。
又、周囲や吊り荷直下に他の作業者が入らないように声をかけて行う。
- ④電動工具は持ち込み前に絶縁抵抗を点検し不良工具は使用しない。又、2重絶縁工具以外は3芯アース付を使用する。
- ⑤作業後は片付清掃を実施し、飛散風散しないよう養生を行う。